



## 平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年8月10日

上場会社名 日本ギア工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6356 URL http://www.nippon-gear.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺田 治夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 林 秀樹 TEL 0466-45-2100  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第1四半期の業績（平成30年4月1日～平成30年6月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	1,434	△15.7	27	3.7	32	4.2	19	18.8
30年3月期第1四半期	1,701	△23.4	26	△93.4	30	△92.5	16	△94.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	1.35	1.35
30年3月期第1四半期	1.14	1.14

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	10,537	7,680	72.8	540.61
30年3月期	10,557	7,704	72.9	542.36

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 7,671百万円 30年3月期 7,696百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期（予想）	—	2.00	—	2.00	4.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成31年3月期の業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	3,800	17.9	80	—	80	—	60	—	4.23
通期	8,000	8.3	320	9.8	320	7.6	220	1.1	15.50

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	14,280,000株	30年3月期	14,280,000株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	90,160株	30年3月期	90,060株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	14,189,903株	30年3月期1Q	14,190,306株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(会計方針の変更)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社のセグメント別受注状況は、歯車及び歯車装置事業ではジャッキ及びその他の増減速機、バルブ・コントロールともに受注は減少いたしました。歯車につきましては、その他産業機械用が増加したことにより、受注は増加いたしました。これにより、歯車及び歯車装置事業の受注は減少いたしました。工事業では火力発電所向け等が減少したことにより、受注は減少いたしました。

その結果、当第1四半期累計期間の受注高は19億79百万円（前年同期比14.0%減）、売上高は14億34百万円（前年同期比15.7%減）となりました。一方、当第1四半期会計期間末の受注残高は36億円（前事業年度末比17.8%増）となりました。

損益面につきましては、原価低減に努めた結果、売上原価が9億80百万円（前年同期比18.4%減）、販売費及び一般管理費は4億26百万円（前年同期比9.8%減）となりました。これにより、売上高が減少したものの、営業利益は27百万円（前年同期比3.7%増）、経常利益は32百万円（前年同期比4.2%増）、四半期純利益は19百万円（前年同期比18.8%増）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

歯車及び歯車装置事業では、バルブ・コントロールの受注高は鉄鋼、船舶、化学、上下水道向け、補修部品が増加したものの、火力発電所、原子力発電所、石油、輸出向けが減少したことにより、前年同期比15.4%減少いたしました。売上高は、化学向け、補修部品が増加したものの、火力発電所、原子力発電所、鉄鋼、輸出、石油向けが減少したことにより、前年同期比21.4%減少いたしました。ジャッキにつきましては、受注高は前年同期比9.0%増加いたしました。売上高は前年同期比16.0%減少いたしました。その他の増減速機につきましては、前年同期比で受注高は43.2%、売上高も9.3%減少いたしました。歯車の受注高は自動車用が減少したものの、鉄道・船舶用、建設機械用、その他産業機械用が増加したことにより、前年同期比48.9%増加いたしました。売上高は、自動車用、鉄道・船舶用、建設機械用が減少したものの、その他産業機械用が増加したことにより、前年同期比7.5%増加いたしました。以上の結果、歯車及び歯車装置事業では、受注高は前年同期比8.7%減少し、売上高も前年同期比20.1%減少いたしました。

工事業につきましては、受注高は上下水道向けが増加したものの、火力発電所、原子力発電所、石油化学向けが減少したことにより、前年同期比28.7%減少いたしました。売上高は石油化学向けが増加したものの、火力発電所、原子力発電所、上下水道向けが減少したことにより、前年同期比4.9%減少いたしました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における財政状態につきましては、流動資産は前事業年度末に比べ12百万円増加し73億45百万円となりました。これは主に売上債権が5億77百万円減少いたしました。現金及び預金が4億6百万円、たな卸資産が2億42百万円増加したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末に比べ32百万円減少し31億92百万円となりました。これは主に無形固定資産が8百万円増加いたしました。有形固定資産が24百万円、投資有価証券が21百万円減少したことによるものであります。

流動負債は前事業年度末に比べ2億95百万円減少し18億51百万円となりました。これは主に1年内返済予定の長期借入金1億5百万円増加いたしました。仕入債務が81百万円、短期借入金2億80百万円、賞与引当金1億26百万円、株主優待引当金38百万円減少したことによるものであります。

固定負債は前事業年度末に比べ2億99百万円増加し10億5百万円となりました。これは主に長期借入金3億18百万円増加したことによるものであります。

純資産は前事業年度末に比べ23百万円減少し76億80百万円となりました。これは主に利益剰余金が9百万円、その他有価証券評価差額金が15百万円減少したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成30年5月11日の「平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想を下回る可能性があります。

上記「(1) 経営成績に関する説明」でご説明したとおり、当第1四半期会計期間末の受注残高は36億円となっており、前事業年度末比117.8%となっております。

これらの受注が予定通りに売上げに計上されるのであれば業績予想の修正開示は必要ないと予想しておりますが、納期変更により予定よりも遅れて計上される場合には修正開示が必要な可能性があります。現時点ではこの売上計上時期が不透明なことから利益を合理的に算定できないため業績予想を変更なしとしますが、さらなる分析等により予想との乖離が確実に判明した際には直ちに開示をする予定でございます。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,512,799	2,919,099
受取手形及び売掛金	2,877,696	2,300,391
商品及び製品	95,807	137,528
仕掛品	419,254	537,944
原材料及び貯蔵品	1,234,565	1,316,936
未収還付法人税等	85,095	65,148
その他	107,922	68,133
流動資産合計	7,333,141	7,345,182
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,013,291	1,013,291
その他(純額)	947,631	923,487
有形固定資産合計	1,960,922	1,936,779
無形固定資産		
	241,551	249,609
投資その他の資産		
投資有価証券	614,237	592,532
前払年金費用	363,551	369,358
その他	49,511	49,137
貸倒引当金	△5,200	△5,200
投資その他の資産合計	1,022,100	1,005,827
固定資産合計	3,224,574	3,192,215
資産合計	10,557,715	10,537,397
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,111,056	1,029,776
短期借入金	280,000	-
1年内返済予定の長期借入金	139,350	245,216
賞与引当金	251,012	124,087
製品保証引当金	7,368	7,135
環境対策引当金	3,500	3,170
株主優待引当金	38,059	-
その他	316,761	441,996
流動負債合計	2,147,108	1,851,381
固定負債		
長期借入金	433,650	752,449
資産除去債務	173,670	173,711
その他	98,786	79,168
固定負債合計	706,107	1,005,329
負債合計	2,853,216	2,856,710

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,388,800	1,388,800
資本剰余金	848,348	848,348
利益剰余金	5,265,080	5,255,902
自己株式	△33,097	△33,145
株主資本合計	7,469,131	7,459,905
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	226,869	211,215
評価・換算差額等合計	226,869	211,215
新株予約権	8,498	9,566
純資産合計	7,704,499	7,680,687
負債純資産合計	10,557,715	10,537,397

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
売上高	1,701,383	1,434,948
売上原価	1,201,625	980,496
売上総利益	499,758	454,452
販売費及び一般管理費	472,813	426,511
営業利益	26,944	27,940
営業外収益		
受取配当金	6,539	6,876
その他	832	3,679
営業外収益合計	7,372	10,555
営業外費用		
支払利息	3,088	4,206
その他	254	2,011
営業外費用合計	3,342	6,218
経常利益	30,974	32,278
特別利益		
固定資産売却益	—	3,539
特別利益合計	—	3,539
税引前四半期純利益	30,974	35,818
法人税等	14,804	16,616
四半期純利益	16,170	19,202

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(たな卸資産の評価方法の変更)

当社において、従来、原材料以外のたな卸資産については月次移動平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）によって評価しておりましたが、基幹システムの変更に伴い、当第1四半期会計期間より、いずれも月次総平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）に変更しました。なお、当該会計方針の変更は、過去の期間に与える影響が軽微であるため、遡及適用しておりません。また、この変更による当第1四半期会計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。



(セグメント情報)

I 前第1四半期累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	1,207,581	493,802	1,701,383
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-
計	1,207,581	493,802	1,701,383
セグメント利益又は損失(△)	△59,363	86,307	26,944

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)  
該当事項はありません。
3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	965,163	469,785	1,434,948
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-
計	965,163	469,785	1,434,948
セグメント利益又は損失(△)	△93,981	121,921	27,940

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)  
該当事項はありません。
3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。